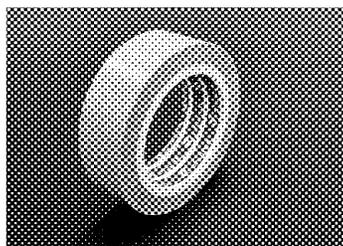


識別容易なオレンジ色

フッ素
樹脂製品 中興化成、EV向け



中興化成工業（東京 都港区、庄野直之社長）は、EV（電気自動車）の高電圧配線の識別用として、フッ素樹脂をオレンジ色に着色した製品を開発した。配線の結束などを想定し、粘着テープ（写真）や押出成形のチューブ類を製品化した。300度C以上となる樹脂の加工温度に耐える顔料を選定し、有用性の高い色調を実現した。

粘着テープはガラスクロスに樹脂をコーティングした膜材に、シリコン系粘着剤を塗布した。1巻当たり幅19mm×長さ10m、厚さ0.11mm。消費税抜き3500円。年間1億円の製品売上高を目指す。

チューブ類は受注生産品とし、スネークルホースやスパイラルカッター品などをニーズに応じて製造する。

中興化成工業は自動車関連への供給力強化を進めており、成長分野であるEV向け需要を取り込む。EVの高電圧配線は、安全性のため識別しやすいオレンジ色に統一されている。視認性と、フッ素樹脂の耐熱性や電気絶縁性といった特徴を生かす。